

製品名: cIAP2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86518**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:68 kDa; Observed MW:72 kDa

抗原情報

遺伝子名	cIAP2
別名	AIP1; API2; MIHC; CIAP2; HAIP1; HIAP1; MALT2; RNF49; c-IAP2
遺伝子 ID	330
SwissProt ID	Q13489
免疫原	ヒト cIAP2 の合成ペプチド

背景

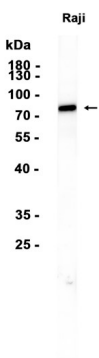
この遺伝子は、腫瘍壊死因子受容体関連因子 TRAF1 および TRAF2 に結合してアポトーシスを阻害する IAP ファミリータンパク質の

メンバーをコードしており、おそらく ICE 様プロテアーゼの活性化を阻害することによって阻害すると考えられます。コードされているタンパク質は、血清欠乏によって誘導されるアポトーシスを阻害しますが、強力なフリーラジカル誘導因子であるメナジオンへの曝露によるアポトーシスには影響を与えません。この遺伝子は、バキュロウイルス IAP リピート 3 つとリングフィンガードメインを含みます。同じアイソフォームをコードする転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2011 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



cIAP2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Raji 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。